



基本的な考え方

当社は「調達基本方針」に基づき、適正取引の推進を図っています。調達活動推進にあたり、取引先の皆様とサプライチェーン全体で活動し、相互の持続的成長につなげていくため、お互いの信頼に基づいたパートナーシップ関係を構築していきます。

調達基本方針

- 1 開かれた公正・公平な取引の原則
- 2 調達相手先と一体となった競争力強化の原則
- 3 調達相手先との共存共栄の原則
- 4 原価低減活動等における課題・目的の共有と成果シェアの原則
- 5 相互信頼に基づく双方向コミュニケーションの確保の原則

サプライヤーとのパートナーシップの強化

毎年3月に、当社は「調達方針」を展開します。この中で経営理念や会社方針を示し、「環境・安全・コンプライアンス・品質・生産・原価等に関する取り組み」と「当社からの期待値となる目標」を説明/共有します。これにより取引先の皆様との連携強化、および適正取引推進に関する取り組みの強化を図っております。また、2022年12月にはパートナーシップ構築宣言を策定・公表しました。サプライチェーンの取引先の皆様や、価値創造をともに図る事業者の皆様との連携、そして共存共栄を図る取り組みを進めています。

ともに成長するための支援活動

当社の協力会(全18社)で構成される組織である「豊成会」は、1989年に結成され、大豊グループ協力会として相互研鑽を通じ、企業の発展を図っています。また、豊成会各社の開発力、生産性の向上による拡販・収益向上を目的に「技術開発・改善事例展示会」を開催しています。さらに、今年度は豊成会品質勉強会を企画し、豊成会各社の品質機能人財の育成を図る活動を行っています。



調達方針説明会



技術開発・改善事例展示会



豊成会品質勉強会

サプライチェーンマネジメント

東日本大震災や新型コロナウイルス感染拡大、半導体不足等の経験を踏まえ、サプライチェーンの把握、調達先の複数化など、供給リスクに対応する「生産の構え」の整備を行っています。大規模災害が発生した際に円滑に行動できるよう、取引先の皆様と有事を想定した防災訓練やBCMに関する勉強会を実施し、さらなる体制強化を図っていきます。

グリーン調達

グリーン調達ガイドラインにて「環境マネジメントシステムの構築」「温室効果ガス・水インパクトの削減」「化学物質の管理」「自然共生社会の構築」への取り組みについて、取引先の皆様をお願いしています。また、環境支援活動の一環として、各社を訪問し、現地・現物確認会を継続して実施しています。取引先の皆様とともに、環境保全活動を進めていきます。紛争鉱物に関しては、直接的・間接的な使用も一切認めないという方針のもと、取引先の皆様のご協力を得て、紛争鉱物の不使用を担保する体制を維持しています。2023年4月には、当社が公表したカーボンニュートラル宣言を踏まえ、取引先の皆様へ大豊工業の取り組みを説明するカーボンニュートラル説明会を実施し、7月にはグリーン調達ガイドライン(第5版)を公表いたしました。



グリーン調達ガイドライン

PDF版は当社ウェブサイトからダウンロードできます。
<https://www.taihonet.co.jp/sustainability/client/>